

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 奈良市立二名中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒631-0072
奈良市二名一丁目 3667-2

E-mail nimyou-j@naracity.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 275名 女子 251名 合計 526名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①世界遺産学習英語ガイド活動【下記写真・左】

1年生の11月に、東大寺、東大寺ミュージアム、興福寺、興福寺国宝館を訪れる。世界遺産の良さを深く学ぶために小グループによる英語ガイド活動に取り組んで5年になります。奈良を訪れる外国の観光客の方々に、地元奈良の良さを英語で伝え、旅の安全を願い、折り鶴をプレゼントする。「君たちは日本で、しかも奈良に住んでいていいね。」こんな感想を異文化の方々から伝えてもらった時、生徒たちは、奈良の良さを再認識する事ができる。

この活動には、地域の方々の協力が欠かせない。二名中学校区地域コーディネーターの方々、二名公民館、奈良ガイドクラブ、天理大学国際学部のスタッフである。事前指導として実施している英語インタビュー練習が、当日の正否の鍵となる。地域コーディネーターやその他のスタッフの方々を、観光に訪れた方に見立て、英語のインタビューのノウハウを学ぶのである。この活動で自信をつけた生徒たちは、当日生き生きと活動できた。

②地域防災活動に参加【下記写真・右】

平成26年本校生徒会本部の3名が、被災地宮城県を訪れた。彼らを感じたことは、地域防災の担い手としての中学生の活動の大切さであった。奈良に帰り、防災生徒集会を開催し、全校生徒に訴えた。現地で学んだ「かまど型ベンチ」の設計図をもとに、校庭に「かまど型ベンチ」を設置。毎年秋に地域で実施されている「二名中校区さわやかクリーンデー」で地域の方々と共に豚汁200食をつくった。

平成27年度には、3基目の「かまど型ベンチ」を作製した。また、このメンバーは、生徒総会で防災についての取組を提案し、創立40周年スローガンを「未来に繋げ、二名のバトン」に決定、校舎に掲げた。本年度生徒会本部は、「人・仁・心」をテーマに、人とのつながりを大切さを意識した活動を始めている。また、平成28年度も「二名中校区さわやかクリーンデー」で豚汁づくりに取り組んだ。平成28年度校区の2小学校でも「かまど型ベンチ」が設置され、小中一貫教育と一体化した取り組みとなった。また、平成28年度校区の2小学校で実施された防災活動に、中学生が参加した。

これらの活動を通して、生徒が実感したことは、地域の方々の中学生に対する期待の大きさであった。平成28年度は、人との出会いを通して、地域で学んだ事を誇れる生徒の育成を中学校区で目指す子ども像として、地域の活動に取り組んでいる。これからも、地域の方々と共に考え、行動できる持続可能な社会の担い手を育成していきたい。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）